

## 航空機用タイヤ事業から撤退

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は、航空機用（AC）タイヤ事業から撤退することを決定した。横浜ゴムは、昭和15年から国内エアラインや防衛省向けに、航空機用タイヤ、航空機用リトレッドタイヤ（踏面部ゴムの張替えタイヤ）の生産販売事業を行っている。しかし売上規模が小さく、将来の成長も見込めないことから、撤退を決定した。

横浜ゴムでは、すでに納入先、販売先、関連会社への事前説明を進めており、2009年内で段階的に納入を停止し、アフターフォローも2010年内ですべて終了させる計画。航空機用タイヤ事業に携わる人員の活用、平塚製造所にある航空機用タイヤ工場（神奈川県平塚市）の活用については、今後詳細を詰める予定。航空機用タイヤ事業の年間売上高は約8億円（2008年度見込み）。

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株） 広報部 担当：石塚

TEL:03-5400-4531 FAX:03-5400-4570